

10月1日～

パソコンで読めます！ 議員の発言
詳しくは裏表紙をごらんください

議会が **グッと** 近くなる

 つばめ市議会 **ノートブック**

No.28

2012年11月15日発行



Action 23

23名の議員が市民の代表として行動しています

平成23年度決算
燕市決算

いろはカルタ

P.2-3

一般質問

私はこう考える 市はどつする？

P.6-14

主な議案の審議

条例の制定や改正・補正予算

P.16-17

燕市決算 い ろ は カルタ

議会の注目ベスト6!

決算審査の中で、議会が注目するものを6つ選び、つばめっ子カルタになぞらえてみました

ま まちづくり
みんな仲良く
燕はひとつ

災害救助費
6,609万6千円
東日本大震災の被災者を受け入れ、避難所の開設と運営に係る費用の負担や、生活支度金の支給、被災地への台所用品の寄贈。

非常用備蓄品整備事業
429万9千円
(414万8千円増)
東日本大震災の被災地へ救援物資を提供したことから、毛布や非常用食料品、紙おむつ等の生活用品などを補充するとともに、本市が被災した場合を想定して備蓄品を購入。

さ 災害対策
備えあれば
憂いなし

つ つばめに
暮らして安心
セーフティネット

地場産業販路開拓事業
6,575万4千円
(729万4千円増)
「新潟県ふるさと雇用再生特別基金事業（補助率10分の10）」により開設した「えちご燕物産館両国店」と「同町田店」の運営を、燕三条地場産業振興センターに委託。また、見本市出展小間料の2分の1（1小間10万円限度で最高5小間まで）を助成。

小売商店主販路拡大支援事業 53万6千円
小売商店の販路拡大を支援するため、商店元気塾を開催（8店舗参加・6回開催）。

ど どんなどきも
上を向いて
がんばろう

つばめっ子かるた作成事業
750万円
未来を担う子どもたちに、燕市のことをよく知ってもらうため「つばめっ子かるた」（大判かるた100セット、通常版かるた5,000セット）を作成。

燕ジュニア検定事業
122万9千円
小学校児童対象に、地域の歴史や文化等を楽しく勉強してもらい、ふるさとへの誇りと愛着を持ってもらうための「燕ジュニア検定問題集」の作成。

夏まつり交流促進事業
93万7千円
燕市の一体感がより高まることを目的に、燕市内11のよさこい団体と協働で、燕市オリジナルの新しいよさこい踊りを創作。

YOU-GO支援事業
74万8千円
燕市の一体感の醸成を図るため、市内各地区の交流促進を図る活動を行う5団体を「燕はひとつ推進団体」として認定し、活動費用の一部を補助。

市街地雨水対策事業
8,428万3千円 (3,043万9千円増)
降雨による道路冠水が発生していた水道町地区において、平成23年度は677mの工事を実施し事業を完了。分水地区は、施設能力の不足箇所30mの工事を実施。

除排雪対策事業
4億9,371万1千円
(1億8,280万3千円増)
一斉除雪（15回）のほか、機械の点検や除雪待機料、また、消雪施設の保守点検や漏水修繕など、冬期間における円滑な道路交通を確保。

社会資本総合整備計画策定事業
428万4千円
上越新幹線燕三条駅、北陸自動車道1C周辺地区の須頃郷地区排水対策事業や、公園整備事業を実施するため「社会資本総合整備計画」を策定。

あ 雨風と
雪にも負けな
ふる里つばめ

子ども医療費助成事業 1億9,524万円 (4,589万3千円増)
出生した日から満12歳に達した日以後の、最初の3月31日までの子どもの通院及び入院に係る医療費の自己負担額から、一部負担金を除いた額を助成。

生活保護事業 4億9,108万5千円 (4,382万8千円増)
生活困窮者に最低限度の生活を保障する援助。

小中学校整備事業

- ・吉田小学校改築事業
4億3,243万3千円 (3億9,608万5千円増)
吉田小学校旧校舎の解体工事及び校舎改築（1期）工事（平成25年3月の完成予定）。
- ・分水小学校耐震補強事業
6,357万4千円 (6,277万6千円増)
分水小学校屋内運動場の耐震補強及び校舎の耐震補強（1期）工事。
- ・吉田中学校大規模改造事業
4億2,095万9千円 (3億9,890万9千円増)
吉田中学校校舎の耐震補強及び大規模改造（1期）工事。

子ども夢基金事業 170万7千円
子ども夢基金を活用し、小・中学生が全国スポーツ大会に出場する際の遠征費を補助（1人1回につき5万円を上限）。
実績：小学生23人、中学生37人

す すこやかな
子どもを育てる
教育立市

平成23年度

決算に関する質疑

問 コミュニティ助成事業は、決算額で約1000万円の増額となっているが、各助成額と内容は、

答 地域のコミュニティ団体を対象とし、限度額は250万円である。平成23年度の主なものとして、水道町一丁目と吉田文京町の自治会館の建設助成がある。

問 ホームページ管理運営費について、ホームページの画面上では、バナー広告が前段にあたり、市民にとって求める画面に行きにくかったりと利便性に欠ける。工夫すべき点があるのではないかと。

答 平成23年度に新しいホームページの管理システムを導入してページを一新し、なるべく分かりやすくなることを基本に改定した。ホームページの自身は、職

員間で検討するほか、他市を参考にしながら改善していきたい。

問 生活保護の扶助費が、当初予算から約3700万円も増額になっている。あらかじめ保護者数の増減を見込んだ額で計上はされたのか。

答 保護者数の増については、例年の増数は見込んでいたところである。昨年12月に補正をした時点で、医療費、通院費などの医療扶助費が8000万円増額し、今日に至っている。

問 結核予防事業について、結核の罹患率は減少傾向にあるようだが、減少率は鈍化している。国内ではまだ2万2000人超の結核患者が発生している。この事業は毎年行われているが、

昨年度どのような工夫を凝らし、成果が上がったのか。

答 この事業は65歳以上の方の胸のレントゲン健診を委託し、特定健診や他の健康診査とあわせて実施している。市の結核患者として登録された方の人数は、平成20年度8人、21年度9人、22年度7人であった。

問 公害防止費の公共水域水質検査委託料について、現状はどうか。

答 中之口川の南公民館わきと、同じく野球場わきの排水路の2カ所の水質調査を行った。トリクレンなどの検出を対象とした検査だが、1年間で環境基準をオーバーしたことが3回あった。検査時期の8月は湧水期のため基準も高目に推移しており、一過性のものである。

問 備蓄品の整備事業を詳しく聞きたい。

答 平成23年度は燕地区に2基、吉田地区に1基である。遊具の種類は自治会や子ども会を通して選んでいただいている。また、撤去した遊具と同じ種類を再設置することを原則としている。アンケートについては、今後も予定はしていない。

問 スポーツエキスパースト活用事業について、各地区の中学校における指導者の派遣人数は。また、学校間との連携はあるのか。

答 県の補助金を利用した事業で、外部指導者を中学校

の部活動に派遣している。23年度は5名で、燕中2名、吉田中2名、分水中1名を派遣した。事業としての各校との連携のものはないが、指導者についてはその地域の多様な人材をお願いして指導にあたっていた。

問 奨学金について、平成23年度の申込者数と状況は。

答 平成23年度の申込者数は37名で貸与決定は36名である。貸与審査委員会で成績や経済的理由、またその他の特別な事情などを勘案して貸付の審査を行っている。

問 下水道の接続率は。

答 平成23年度末燕地区71.2%、吉田地区52.6%、分水地区44.5%、市全体では63.8%である。西川処理区に該当する地域が少し低目であり、率を上げるためにPRや個別訪問などを実施している。今後も粘り強く続けて接続率アップにつなげていきたい。

決算の特徴

ゲンネット・クラブ・ドウスカ?

歳入歳出差引額 13億9,199万6,000円	純繰越金 11億6,550万円	翌年度へ繰り越すべき財源 2億2,649万6,000円										
歳入総額 358億 1,777万1,000円 前年度比3.0%増 (+10億5,540万8,000円)	<table border="1"> <tr> <th>増減した主なもの(歳入)</th> <th>増減した主なもの(歳出)</th> </tr> <tr> <td>地方交付税 23年度 67億4,193万2,000円 (+4億9,896万8,000円) 22年度 62億4,296万4,000円</td> <td>システム開発業務委託料 23年度 5億1,924万6,000円 (+4億8,281万1,000円) 22年度 3,643万5,000円</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金の社会資本整備総合交付金 23年度 2億9,471万6,000円 (+2億8,771万6,000円) 22年度 700万円</td> <td>新庁舎建設事業 23年度 2億4,466万1,000円 (+1億7,433万7,000円) 22年度 7,032万4,000円</td> </tr> <tr> <td>地方債の緊急防災・減災事業費 23年度 5億8,140万円 (+5億8,140万円) 22年度 0円</td> <td>燕弥彦総合事務組合ごみ処理費負担金 23年度 2億9,359万9,000円 (▲2億7,948万5,000円) 22年度 5億7,308万4,000円</td> </tr> <tr> <td>合併特例債 23年度 13億3,800万円 (▲11億2,220万円) 22年度 24億6,020万円</td> <td>し尿受入施設建設費 23年度 0円 (▲2億6,591万4,000円) 22年度 2億6,591万4,000円</td> </tr> </table>	増減した主なもの(歳入)	増減した主なもの(歳出)	地方交付税 23年度 67億4,193万2,000円 (+4億9,896万8,000円) 22年度 62億4,296万4,000円	システム開発業務委託料 23年度 5億1,924万6,000円 (+4億8,281万1,000円) 22年度 3,643万5,000円	国庫支出金の社会資本整備総合交付金 23年度 2億9,471万6,000円 (+2億8,771万6,000円) 22年度 700万円	新庁舎建設事業 23年度 2億4,466万1,000円 (+1億7,433万7,000円) 22年度 7,032万4,000円	地方債の緊急防災・減災事業費 23年度 5億8,140万円 (+5億8,140万円) 22年度 0円	燕弥彦総合事務組合ごみ処理費負担金 23年度 2億9,359万9,000円 (▲2億7,948万5,000円) 22年度 5億7,308万4,000円	合併特例債 23年度 13億3,800万円 (▲11億2,220万円) 22年度 24億6,020万円	し尿受入施設建設費 23年度 0円 (▲2億6,591万4,000円) 22年度 2億6,591万4,000円	歳出総額 344億 2,577万5,000円 前年度比2.2%増 (+7億3,026万1,000円)
増減した主なもの(歳入)	増減した主なもの(歳出)											
地方交付税 23年度 67億4,193万2,000円 (+4億9,896万8,000円) 22年度 62億4,296万4,000円	システム開発業務委託料 23年度 5億1,924万6,000円 (+4億8,281万1,000円) 22年度 3,643万5,000円											
国庫支出金の社会資本整備総合交付金 23年度 2億9,471万6,000円 (+2億8,771万6,000円) 22年度 700万円	新庁舎建設事業 23年度 2億4,466万1,000円 (+1億7,433万7,000円) 22年度 7,032万4,000円											
地方債の緊急防災・減災事業費 23年度 5億8,140万円 (+5億8,140万円) 22年度 0円	燕弥彦総合事務組合ごみ処理費負担金 23年度 2億9,359万9,000円 (▲2億7,948万5,000円) 22年度 5億7,308万4,000円											
合併特例債 23年度 13億3,800万円 (▲11億2,220万円) 22年度 24億6,020万円	し尿受入施設建設費 23年度 0円 (▲2億6,591万4,000円) 22年度 2億6,591万4,000円											



新しくなった遊具(燕地区南公園)

問 住宅リフォーム助成費の、助成件数と経済効果は。

答 助成件数は486件で、3839万4000円を助成した。それに値する工事費が7億725万円である。この効果を算出したところ、助成額の3.3倍に及び1億2800万円の工事費の押し上げがあったものと思われる。さらに経済波及効果では助成額の5.5倍に値する約2億1000万円の効果があつたものと算出される。

問 小売商店主販路拡大支援事業には、燕・吉田・分水各地区の商店の方々が参加されているのか。その内容は。

答 6回のカリキュラムを開催した。18商店の参加があり、内訳は燕地区が3店、吉田地区が14店、分水地区が1店であった。第1回目の「商売繁盛の秘密とは」では、15の商店主の方から出席をいただいた。

問 都市公園管理費の公園遊具の設置について、23年度に3基の遊具を再設置したようだが、どのような遊

16名の議員が聞いた！ 一般質問

一般質問は、議員が市政全般にわたり、政策提言も含めて市に考えを聞くものです。平成24年9月議会では、16名の議員が登壇しました。全質問項目は左記のとおりです。

7ページからの本文は質問議員本人が執筆していますが、文字数が限られているため、要約して掲載しています。全文は、各図書館などに置いてある議事録か、インターネット（市議会ホームページ内の「会議録検索」）で閲覧することができます。



イロンナテーマ・トリアゲマシタ

項目	H19年度	H21年度	H23年度
被保護世帯数	180	211	260
世帯数	26,669	27,063	27,470
被保護人員(人)	222	252	311
人口(人)	82,957	82,214	81,512
被保護世帯数	10,270	11,813	14,080
世帯数	836,314	847,905	858,999
被保護人員(人)	14,064	16,005	19,203
人口(人)	2,407,430	2,383,650	2,362,581

【燕市の「その他世帯」の増加状況】

H23年3月末34人→H24年3月末37人→H24年7月末44人
※64歳以下で、障害・傷病（持病があり通院している）・母子世帯に該当しない世帯のこと。いわゆる働けるとされる世帯。

【問】 生活保護に至る前の、社会生活に困難さを感じている方々への支援を充実することは、社会全体として、

【答】 「地域のために行動したい」という思いを込めて、方をぜひ紹介していただきたい。我々としても、取り組んでほしいこと、手助けしてほしいことがたくさんある。

【問】 生活保護に至る前の、社会生活に困難さを感じている方々への支援を充実することは、社会全体として、

【答】 貧困ビジネスなどが社会問題化してきており、生活保護を受ける前に、いろいろな支援を行っていき必要を感じている。今後もしっかり組みの充実を図っていきたいと思っています。

【問】 いじめの発見・解決が遅れ、悲惨な事件が後を絶たないが、その理由と対策を伺う。

【答】 児童生徒が発しているサインを的確につかむことができなかったり、現象として起こっていることとの背景を把握できずに、誤った対応を行ってしまったことが考えられる。これらに対応する教員の研修や、大人たちが、もっと子どもに関心を持っていく必要がある。



小林由明 議員 (旭日会)

「もう一歩踏み出す」ための心の刺激策



本多了一 議員 (日本共産党)

消費税増税は燕市の産業に打撃

【問】 消費税の税率を、現行5%から段階的に10%に引き上げる法律が8月10日可決された。消費税増税は燕市の産業にとつて大変な影響が出てくるのではないかと心配する。市長の政治姿勢として、消費税増税について見解を伺いたい。

【答】 この問題で私たちは、燕市の業界団体や有力な会社を事前に訪問したが、多くの人たちは増税に反対であった。ある会社の専務は「今の時期に税率を5%以上引き上げることは事業者にとって大変なことだ。1997年に3%から2%引き上げたときよりもっと大きな影響が出ることは容易に予想ができる」と語っておられた。これに対する市長の感想・見解をお聞かせ願いたい。

【答】 消費税法案の成立について、基本的に社会保障の持続可能性という観点から、中長期的には避けて通れない課題だと考える一方、私としては消費税の引き上げの時期について、現在の景気低迷、あるいはデフレが続いている中、慎重に対応すべきと申し上げてきた。今回、ある意味拙速な形で導入されたことを、残念に思っている一人だ。ご指摘のとおり、地場産業や地域経済にいろいろな影響が出てくるのではないかと心配している。



① 小林由明 議員 (旭日会) P.7

- 生活保護について
- 全ての方が、もう一歩踏み出すための心の刺激策について
- 学校でのいじめ問題について

③ 中島清一 議員 (旭日会) P.8

- 市長の政治姿勢について
- 本市によせられた「ふるさと納税」の実績について
- 教育問題について

⑤ 渡邊広宣 議員 (鴻巣クラブ) P.9

- 平成23年度決算からみる財政認識と中期的見通しについて
- 指定管理者制度について
- 奨学金制度の柔軟な運動について
- 新市建設計画の進捗状況について

⑦ 大原伊一 議員 (旭日会) P.9

- 合併特例債事業後に最大の案件となるであろう行財政改革について
- 本市における農業の6次産業化について
- 若い世代の農業後継者確保について

⑨ 齋藤信行 議員 (大河の会) P.11

- ICT等を活用した授業の取り組みについて
- 海外都市交流事業の状況について
- おいらん道中等各イベント燕のPRを

⑪ 丸山吉朗 議員 (大河の会) P.12

- 市長就任2年半、市長当選時に掲げられていたテーマ、目標、またその後の政策について
- 三条市栄地区のETC専用栄スマートインターチェンジについて
- 分水熊森地区で信濃川にかかる万盛橋について
- 燕祭りにおける花火打上げについて

⑭ タナカ・キン 議員 (無所属) P.13

- 事業所LED化設備設置費補助金について
- 仲町駐車場について
- ハチの駆除について
- 新庁舎のエレベーターについて
- 新庁舎内の売店について
- チタンによるモニュメントについて
- 骨髄バンク・ドナー助成制度について

② 本多了一 議員 (日本共産党) P.7

- 市長の政治姿勢について
- 農業政策について市の総合計画から問う
- 商業、建設業の振興策について
- 介護保険の改正に関して

④ 樋浦恵美 議員 (公明党) P.8

- 熱中症対策について
- 学校図書館の充実について
- ごみの減量・再資源化の推進について

⑥ 渡邊雄三 議員 (公明党) P.9

- 防犯灯・公共施設のLED化について
- 燕市内に漂う悪臭について
- コンビニにおける証明書の交付について

⑧ 埴 豊 議員 (旭日会) P.9

- 財政問題について
- 産業問題について
- 公共下水道事業の進捗状況と負担金について

⑩ 土田 昇 議員 (日本共産党) P.11

- 地域医療の問題点と今後の対応について
- 産業史料館の管理について
- 不登校問題といじめの実態について

⑫ 山崎雅男 議員 (旭日会) P.12

- 安心・安全なまちづくりを進めるにあたり
- 小・中学校の学期制について
- 現庁舎の利活用について

⑮ 中山真二 議員 (旭日会) P.14

- 日本一輝くまちについて
- 指定管理者制度について
- 老朽化した空き家対策について
- 補助金・助成金について
- 産業について
- 子ども園について

⑬ 齋藤紀美江 議員 (旭日会) P.13

- 図書館のありかたについて
- 子どもを育む施策について
- 吉田ふれあい広場の芝広場の改修と活用について

⑯ 阿部健二 議員 (無所属) P.14

- 6月議会での教育委員会の官僚的答弁について
- 教科書に書かれている公務員について
- 燕市政における官僚組織と官僚の逆機能について

ひとくちメモ… 一般質問の人数に制限はありません。1人当たりの質問時間は30分以内です。質問を行う議員は、事前に「こんな質問をします」という通告を書面で行います。本会議における質問の順番は受付順となっています。



中島清一 議員 (旭日会)

ふれあいトークで 寄せられた要望は

問 市内3会場での「市長とのふれあいトーク」が実施された。参加状況はどれくらいだったのか。市民からはどのような質問や要望が寄せられたのか。市長の感想を聞きたい。

答 3会場を合計すると150人ほどの参加があった。寄せられた質問や意見は、市の財政状況・福祉・教育に関するものをはじめ、人口の減少抑制対策・冬季の除雪対策等々多岐にわたり、都合13人から22件の

質問があった。今回は市の施策だけでなく、個別のテーマについても解説したが、理解をいただくよい機会になったと受けとめている。市民からは地域に密着した質問、要望等を直接聞くことができた。会場で寄せられた市民の生の声も生かしていきたい。今後もこのふれあいトークを継続したい。



吉田産業会館での市長とのふれあいトーク

問 大手企業の海外シフトを背景に、中小企業の海外進出がさまざまな形で加速している。海外展開を考える市内企業の支援策について伺いたい。

答 経済がグローバル化していく中で、燕の中小企業もこのグローバル化の波を避けて通れない。その波にどう対応するか真剣に考える必要がある。今後ともいろいろな関係者の話を伺いながら、支援策の検討を進めていきたい。



普通教室の冷房が設置されている分水小学校

小中学校、保育園・幼稚園の熱中症対策！

問 小中学校の普通教室の冷房設置について、中学校は今年度残りの1校も整備される。小学校は1校のみ整備されているが、今後の対応は。熱中症対策として、小中学校や保育園・幼稚園に、気化熱で周辺気温を下げる効果のあるミストシャワーを設置できないか。

答 小学校については、分水小学校を除き、普通教室の冷房は整備されていない。直ちに設置することは難しいが、他市では扇風機を設置している事例もあり検討したい。



樋浦恵美 議員 (公明党)

吉田中学校には独自に自作したミストシャワーがあるので、効果について精査をし研究したい。

問 学校図書館の充実について、市内の小中学校の司書教諭の配置状況は。専任の学校司書を配置する考えはあるのか。

答 司書教諭は12学級以上の学校に必ず置くことになっており、小学校6校と中学校3校に配置している。

専任の学校司書の配置はしていないが、学校支援地域本部事業の一つとして、図書館ボランティアの皆さんに業務をお願いしている。

問 ごみの再資源化として、プリンターの使用済みインクカートリッジのリサイクルを推進する事業があるが、参加する考えは。

答 非常にいい事業であると認識している。市としては参加するということで、手続を進めている。

奨学金制度の柔軟な運用を！

問 県内30市町村のうち27市町村で奨学金制度を設けている。その市町村が、他の奨学金制度との併用を認めているが、燕市は認めていない。また、その返還期間は10年と他自治体と同じだが、据置期間は1年としている自治体が多い中、燕市は6カ月としている。経済状況などにより収入が減ってきている今日、利用しやすい制度に改善すべく奨学金の併用、所得に応じて返還期間など、柔軟な運用を考えるべきと思うが、いかがか。



渡邊広宣 議員 (鴻鵠クラブ)

今後は他制度との併用をはじめ、返還期間、奨学金の額などすべての面で夢に向かってチャレンジする子どもたちを応援していく上で、より利用しやすくなるように現行制度を再点検していきたい。

答 燕市の場合、現行制度の運用の中で、所得状況など個別の事情に応じて返還内容の変更について相談しながら、柔軟な対応に努めている。



▲3年連続、全国から志願者の多い大学



▶高校でも奨学金は受けられる

ギインホンニンガ・シップシテイマス

公共施設防犯灯のLED化を！

問 市内には防犯灯と水銀灯を合わせて約1万7000灯あるが、電力会社に支払っている電気料金とLEDにかえた場合の電気料金を伺う。

答 年間の電気料金は、6053万円、これをLEDにかえた場合4121万円となり、1932万円の電気料金の軽減になる。

問 市内民間事業所へLED照明設備に要する経費の3分の1を上限50万円で補助しているが、なぜ市が電力会社に直接支払っている公共施設、防犯灯のLED化を進めて電気料金の軽減を優先にしなかったのか。



公共施設にもLED化を(燕図書館)

答 公共施設防犯灯などをLEDに切りかえることによって、経済的にも環境的にも効果があらわれることは指摘するとおりだが、事業を進めるには多額の設置費用が必要になるため、国などの有利な補助制度を検討している。また、事業の活性化とともに環境面に配慮し、事業所のLED化を優先することにした。

問 現在、一部自治体で実施しているコンビニでの各種証明書の交付を、市として検討する考えはあるか。

答 コンビニでの証明書交付については、利便性もあり一定の効果が期待できる。初期投資が高額で年間経費も350万円、市の負担も大きいので、将来的には検討する考えはある。



渡邊雄三 議員 (公明党)



おいらん道中などで 燕市のPRを



齋藤信行 議員 (大河の会)

問 おいらん道中をはじめとする各イベントでの燕市のPRをどう進めているのか。観光に関する人材をどう考えるか。各イベントをリンクさせることでPRも効率よくできるのではないかと。各イベント

答 キャラクターとしては、おいらん道中の場合「きららん」があるので、観光協会が統一されてくれば、よりその位置づけも正式なものになってくるのではないかと。観光協会も来年4月に統一を検討しており、これまで単体で行ったイベント事業も有機的に組んで対応していきたい。その際、県や県観光協会とも連携して、燕の魅力発信したい。また、それぞれのイベントで飲食や物販コーナーを設け、特産品を販売しており、市内の店舗誘導にパンフレットの掲載もしているが、飲食店などへのPRが課題。県や県観光協会のイベントにも参加し、県との連携はできている。リンクとしてはおいらん道中も販売するが、規模が小さい。ことしの青空即売会では飲食店など28業者がつばめルシェを行う。花火は夜間のイベント演出にこれ以上のものはなく、お手伝いできることがあれば支援したい。

問 観光などのキャラクターなどは考えているか。

答 キャラクターとしては、おいらん道中の場合「きららん」があるので、観光協会が統一されてくれば、よりその位置づけも正式なものになってくるのではないかと。



市営住宅など公共施設のあり方、必要性が求められる

問 市の施設で10年以内に耐用年数を迎える施設について、少子高齢化、人口減少を踏まえた上で整備を進める必要性があるか。

答 財産台帳に登録してある750棟の施設中、2割が10年以内に耐用年数を迎えるが、建て替えるということではなく行財政改革の観点から施設のあり方、必要性を検証し、必要との判断が出された施設には、有利な財源を活用しながら適切な対応を図っていき

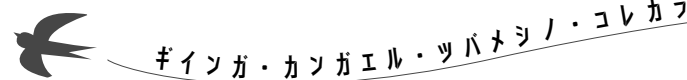
耐用年数を迎える公共施設の今後のあり方は



大原伊一 議員 (旭日会)

問 つばめ6次産業化推進事業は何を目指しているのか。6次産業化に向けた取り組みと成果・事例について伺う。

答 本市において、今年度新規就農者が微増の3名誕生しており、地域農業の担い手として活躍を期待している。人農地プランをはじめ、青年就農給付金制度を最大限に活用し、青年就農者育成確保を図っていききたい。



ギンガ・カンガエル・ツバメシノ・ユレカウ

混乱する国政が 市政に及ぼす影響は？



埴 豊 議員 (旭日会)

問 国の特例公債法案が成立困難となり、平成24年度予算約24兆円のうち92兆円のうち38兆円の執行ができない情勢である。さらに混乱をきわめる政局の行方次第では、25年度予算にも大きな影響があると考えられるが、考えを聞く。

答 特例公債法案は、財源不足を補うための特別法であり、この法案が年明け以降も成立しなければ、補助事業の予算や特別交付税の支給にも大きな影響があると懸念している。

問 平成21年12月に2年間の時限立法として施行された中小企業金融円滑化法・通称金融支援法が平成25年3月に期限切れとなる。景気低迷・販売不振の中小企業を金融面で支える重要な施策が終わる。この法案切れを間近に控え、中小零細企業がその大部分を占める産業界の実情調査の必要性、認識を聞きたい。



地域医療の問題点と 今後の対応は

問 県央地域は以前から救命救急センターの建設が強く求められてきた地域であるが、新潟県は以下の4点について明確にした。
① 具体的な医療提供体制の方向性に基づいて、500床規模の病院の設置及び既存病院の役割分担に向けて、具体的な調整を県が行う。
② 新潟県として県立の加茂病院の廃止、縮小は考えない。
③ 経営主体等との再編に向けた調整役は県が行う。
④ 複数の案を検討し、次回の合同会議に報告する。



答 合同会議で説明があった。その後、燕労災病院と厚生連三条総合病院の2つの経営主体として、この問題について経営主体としてやる気があるかどうかということの協力要請を行って、今月中を回答期限に返事を待っている状況である。



土田 昇 議員 (日本共産党)



問 指定管理されている図書館は全国で一割程度であり、指定管理についての評価は定まっていな。市民の知的財産のあり場所とも言える図書館の将来像を示し、もっと充実させてからでもよいのではないか。教育立市宣言にも反するのではないか。

答 図書館の指定管理は教育立市宣言に反することはなく、厳しい財政状況の中で多様化する市民ニーズに対応していくためには、官と民、役割分担しながら質の維持、さらなる向上に取り組む。

問 インターチェンジから近い分水地区、小池地区において、地場産業や観光にどのような影響が出てくるのか、今後の燕市側からの利用状況等を踏まえた上で検討していく重要な問題と認識しているか。

答 万盛橋の改修を市として県に要望していると思うが、見通しはどうか。

答 運転者に譲り合いを促すような標識の設置が可能か、高欄の改修も合わせ、引き続き地域の皆さんの声を県に伝えるよう努力していく。

問 部活動の目的と目標についての再認識が必要ではないか。「勝つ」ことが目的になるとさまざまなあつれきが生まれる。

答 部活はスポーツの楽しさや喜びを味わい、学校生活に豊かさをもたらし、人間的な成長を促すという意義がある。指導者の心構えというのは非常に重要と考える。

問 秋葉町児童クラブの現状認識はどうか。夏休みは手狭で大変な状態だった。地域から要望も出されている。

答 水道町の自治会長及び西小PTA、大関小PTA連名で児童館建設の要望書が出されている。幼・保の適正配置と絡めて、地域の子育て支援施設について検討していく。



齋藤紀美江 議員(旭日会)

どうなる！ どうする！ これからの「図書館」

市長の目指す日本一輝くまちとは



丸山吉朗 議員(大河の会)

問 市長は、燕市が具体的に何がどのようになった場合に、日本一輝くまちと考えているのか。

答 市民の活動、企業の活動、行政の取り組み等が世間的に、全国的に注目されるよう活発に行われるため、取り組む人々の姿勢、心の問題ととらえている。今後とも市議会や市民の皆様のご意見をいただき、引き続き目標を目指して誠心誠意取り組んでいきたい。

問 市は、栄スマートインターをどのように評価し、活用しようとしているのか。またどのような影響があるか。



分水熊森地区の信濃川にかかる万盛橋

問 空き家は、不審火による火災の危険性や犯罪の温床になり得る可能性を秘めている。空き家の適切な管理を所有者に義務づけ、老朽化や人的・自然的災害等の危険回避や空き家の定住促進有効活用を図るべく、措置や施策を盛り込んだ具体的な条例制定を真剣に取り組むべきではないか。

答 来年度当初条例制定を視野に入れ、空き家対策を検討したい。燕市リフォーム補助、まちなか定住促進補助と組み合わせ、グランドデザインを描いてみたい。

問 環境、立地条件のよい吉田庁舎の活用は、燕中央図書館として活用すべきで、8万3000人有余の老若男女の市民が利用できることを、第一義に考えるべきではないか。改修費等がかかっても全市民が対象利用できることは多額の整備費用に値しない。図書館は、未来への貴重な財産である。市民サービスの向上、市民の集い、交流する市民に親しまれ、周辺環境と調和し地域性を生かした吉田庁舎であることを念頭に、市民に

市民の目線に立った行政運営を！



山崎雅男 議員(旭日会)

目線を置いて協議・検討すべく、市民の声を形にできる行政・政治であるべきでないか。

答 中央図書館にするには、整った整備をしなくてはならない。平屋棟に加えて3階まで手を加えないと難しく、膨大な費用がかかる。



イッパシツモンニハ・ギインノ・セイサクテイゲンモ

速やかとはどれくらいの期間なのか



タナカ・キン 議員(無所属)

問 仲町駐車場は老朽化により危険で、取り壊すか、継続して使用するには耐震補強工事が急務であると判定されていた。民間に売却する際、建物の耐震補強工事を速やかに実施することが条件だったが、いまだにされていない。

答 市は、契約内容の履行をどのようにチェックしているのか。

答 売却してから5カ月が経過、市としては相手の事業者に対し計画どおり履行するようにと折を見て話をして



問 耐震補強工事の実施期間だが、市の考えていた速やかとはどれくらいの期間のことか。

答 遅くても前半の中で補強していただければという認識である。

問 仮にアパートに住んでいて、「取り壊してマンションを建てるので出て行ってください」という契約では、何月何日までという期限が切つてあると思う。この民間の事業者との契約時において、期限は明記されていたのか。

答 契約書には「平成23年10月14日付燕市告示第317号に基づき、信義を重んじ、誠実に本契約を履行しなければならない」と明記されている。告示の317号において、建物の耐震補強工事を速やかに実施することが売却の条件というのが契約の中での明記の仕方である。

視察見聞レポート

9月12日 全議員を対象に視察研修を行いました。

福島県田村市

学校給食センター

施設の概要…田村市の学校給食未実施校の解消と、既存給食センターの老朽化に伴い、市内小・中学校・幼稚園を対象とする新たな学校給食センターを建築。平成24年1月1日供用開始。

施設の特徴…夜間電力を活用する空調機・給湯器や最新の高効率電気厨房機器を備えたオール電化施設。最大食数 4,300 食。



燕市でも今後2つの給食センターの建設が予定されており、意義のある研修となった

福島県河沼郡柳津西山

地熱発電所

施設の概要…平成7年5月に運転を開始した、日本最大の地熱発電所。

燕市議会ではソーラー発電誘致に取り組むなど、エネルギー問題に関心を高めており、環境への負担が少なく、純国産のクリーンなエネルギーである地熱発電について研修を受けました。



セイガンハ・ダレデモ・ダセマス

請願

全会一致採択

皆さんの要望を議会はこう審議しました

■私立高校生が学費を心配せず学べるように私学助成の増額・拡充を求める意見書の採択に関する請願

請願者
新潟県私学の公費助成をすすめる会
会長 中村直美

議員発議

賛成多数可決

■国民の健康を守り、ドナーの骨髄提供しやすい社会環境づくりを図る「骨髄バンク・ドナー助成制度」創設を求める意見書

発議内容
平成24年6月議会へ提出され採択された燕市での「骨髄バンク・ドナー助成制度」創設を求める請願を受け、本制度は広く世間一般に普及されるべきとの考えから、国への制度創設を求めるものです。

指定管理委託と再就職

問 指定管理者制度が、民間の安いコストを利用した下請け依存になっていないか。また指定管理委託によって減った分の仕事は役所の人員の削減につながっているのか。

答 公共サービスの水準確保にサービス提供者を指定するもので、単なる価格競争による入札ではない。また人員の一定の削減効果もあり、指定管理者制度の導入で、地域の人材の活用、地域団体の育成や振興にも寄与している。



建設が進む「燕南こども園」

問 指定管理委託、アウトソーシングによる人員削減数は。

答 吉田南地区統合保育園や学校給食センターの民営化、可能な施設の指定管理を含めて20人程度の削減を見込んでいる。

問 補助金が多く出されている組織に燕市の旧職員が再就職しているが、どのような理由か。また無償貸与など、人物・金の3点セットの委託が続く今後の時代を、どのようにとらえているのか。

答 当該団体また旧職員も能力や知識、経験等を互いに役立てたいと職につかれています。市が各団体へ職員の就職をあっせんしている事実は全くない。退職後の再就職を市が面倒を見なければならぬ状況は一切なく、コンプライアンス条例を就任早々つくらせていただき、業務に問題が起きないように法令遵守に努めている。



中山眞二 議員(旭日会)

市議会は市の命令系統の一部か？

問 正しくない命令でも遂行されてしまうのが官僚組織だが、市長は命令の正しさを判断するときに議会に耳を傾けようと思っていないのか、それとも、議会は市という管理組織の上意下達の指揮命令系統の一部と考えているのか。

答 議会は市という管理組織の上意下達の指揮命令系統の一部と考えているかとの言い方をされたが、一切そのようなことはなく、二元代表制であり市議会議員の皆さんには市民の代表として敬意を表



阿部健二 議員(無所属)

し、真摯に対応させていただいている。
例を挙げれば、メガソーラー発電が県内でも市町村レベルでも先がけてできたわけだが、私がある気になったきっかけは市議会での提案で、この提案がなければ実現はなかったと理解し、素直に感謝申し上げたいと思っている。

問 民主主義の原理とは全員にかかわることは全員によって討議され、同意されなくてはならないとされているが、現政府の原発再稼働への政治姿勢は、民主主義の原理にかなっていると思われるか。
答 現政府の原発稼働への政治姿勢については、現政府の政府内議論し、政策については国会で議論していくものと思っている。法にのっとり政策が決定されていくことが、民主主義の原理であろうと考えている。



メガソーラー発電施設(上河原地内)

9月定例会の議決結果

■市長提出議案 (30件)

件名	結果	採決状況
平成23年度決算 (10件)		
一般会計	認定	賛成多数
国民健康保険特別会計	認定	賛成多数
後期高齢者医療特別会計	認定	賛成多数
介護保険事業特別会計	認定	賛成多数
公共下水道事業特別会計	認定	賛成多数
土地取得特別会計	認定	全会一致
住宅団地造成事業特別会計	認定	全会一致
企業団地造成事業特別会計	認定	全会一致
温泉保養センター特別会計	認定	全会一致
水道事業会計剰余金の処分及び決算	認定	賛成多数
新潟県中越衛生処理組合規約の変更	可決	全会一致
新潟県中越衛生処理組合の解散	可決	全会一致
防災会議条例の一部改正	可決	全会一致
災害対策本部条例の一部改正	可決	全会一致
財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正	可決	全会一致
ペット霊園の設置等に関する条例の制定	可決	全会一致
デイサービスセンター条例の一部改正	可決	全会一致
市立図書館条例の一部改正	可決	賛成多数
市立認定こども園条例の制定	可決	全会一致
財産の取得	可決	全会一致
市道路線の認定及び廃止	可決	全会一致
平成24年度補正予算 (6件)		
一般会計補正予算 (第4号)	可決	全会一致
一般会計補正予算 (第5号)	可決	全会一致
介護保険事業特別会計補正予算 (第1号)	可決	全会一致
公共下水道事業特別会計補正予算 (第1号)	可決	賛成多数
企業団地造成事業特別会計補正予算 (第1号)	可決	全会一致
水道事業会計補正予算 (第1号)	可決	全会一致

■議員提出議案 (2件)

件名	結果	採決状況
国民の健康を守り、ドナーの骨髄提供しやすい社会環境づくりを図る「骨髄バンク・ドナー助成制度」創設を求める意見書	可決	賛成多数
私立高校生が学費を心配せず学べるように、私学助成の増額・拡充を求める意見書	可決	全会一致

来年4月開設

燕南こども園の開設のために

「燕市立認定こども園条例」を制定

◎全員賛成で可決

燕市立燕南幼稚園と燕市立南保育園を一体化した認定こども園「燕市立燕南こども園」を平成25年4月に開設するために条例を制定しました。

「燕南こども園」は、認可幼稚園と認可保育園が連携して、一体的な運営を行う幼保連携型の認定こども園として、3歳から5歳児の短時間児（幼稚園児）と1歳から5歳児の長時間児（保育園児）を受け入れ、幼稚園と保育園の3歳から5歳児の同年齢児が同じクラスで一緒に活動できる共通利用時間を設けて教育・保育を行うものです。

この条例は、教育と保育を一体的に提供して地域の子育て支援を行うことや、事業の内容、保育料や委任についての規定がうたわれています。

(平成25年4月1日から施行)

問 こども園の職員配置など体制についてはどうなるのか。

答 幼稚園と保育園の3歳から5歳児の同年齢児は、同じクラスで一緒に活動することとしているため、幼稚園教諭・保育士の両資格を有した職員を配置する。

予算増額

企業支援・教育等のため

経済の先行きへの不透明感がうかがわれることから、県の補助金等を活用し、市内企業の新たな販路・需要開拓への支援など緊急課題に迅速に対応するとともに、生活道路・通学路の安全・安心確保対策、地域の教育・子育て支援などのために補正しました。

海外販路開拓支援事業に 740万円

中小企業の海外展開に向けた事業の取り組みとして、海外見本市に出展し海外に向けて燕の優れた産地製品のブランド力を高める事業に対する支援。

道路施設等修繕工事に 1,500万円

道路利用者の安全・安心を確保するため、大雪等で損傷度が増している道路や側溝等の小修繕を実施。また、防護柵等の交通安全施設工事を実施し、通学路の安全確保を徹底。

消雪施設整備事業に 2,000万円

冬期間の生活道路の確保及び道路利用者の安全・安心を確保するため、老朽化した消雪井戸の掘り替え及び改修工事を実施。

9月定例会



ドウナル? ドウナツタ?

条例の制定や改正・補正予算 主な議案の審議についてお知らせします



燕市立図書館の条例改正

指定管理者制度の導入が可能に

◆賛成多数で可決

この条例改正は、来年度から市内3つの図書館の管理運営に指定管理者制度導入を計画していることに伴い、指定管理者による管理ができることとする条文を加えるとともに、指定管理者が行う業務の範囲や管理の基準などを定めるものです。

指定管理者制度とは、公の施設の設置目的を効果的に達成するため、地方公共団体が指定する事業者その他の団体に、公の施設の管理を行わせようとする制度です。図書館への指定管理者制度導入の目的は、民間事業者等が有するアイデアの活用により、市民への図書館サービスの質的向上と経費の縮減を図ることです。

賛成意見

行政に対して民間事業者の経営感覚を取り入れていただきたい。そのためには指定管理者制度の導入を可能にする本条例案については賛成である。

反対意見

将来の図書館像も見えぬ中、制度を導入するとした結論を先にして、行政がとるべき直営の努力が見られない。現在は制度の導入評価が定まらないままで時期尚早である。

市区町村立図書館の指定管理者制度導入の状況

●全国の導入状況

2010年度までに、全国の図書館総数約3,100施設のうち273施設で指定管理者制度を導入。また、2011年度に導入予定の施設数は20施設。近年では指定管理者制度を導入する図書館が増加していることが分かる。

指定管理者制度の導入状況 (図書館数)

区分	特別区・政令市	市町村	合計	
指定管理制導入図書館数	109	164	273	
導入年度	～2005年度	6	6	12
	2006年度	18	38	56
	2007年度	24	24	48
	2008年度	10	38	48
	2009年度	25	27	52
2010年度	26	31	57	
2011年度に導入予定	2	18	20	

※参照：日本図書館協会「図書館における指定管理者制度導入結果について」2011年

●県内の導入状況

- ・長岡市 (中央図書館を除く市立図書館)
- ・三条市 (栄分館、下田分館を含む)
- ・見附市・南魚沼市・妙高市・十日町市

議会が「もっと」近くなる

市民の声

みんなの力を
大きなパワーに



先日、リニューアルされた議会だよりを目を通し、「見やすくっていいね～」と思ったのが、私の率直な感想です。カラーになって見やすくなり、何となく目を通したという、私のような人も多いのではないのでしょうか。

私は社会福祉協議会に勤務をしており、だれもが住みやすいまちをつくるため「助けあい・支えあい」を推進するお手伝いをしています。「市政」と「まちづくり」に共通すること……それは、市民の皆さんが主役であることだと思います。自分たちのまちは自分たちで、自分たちの住みやすいようにつくっていく必要があるのではないのでしょうか。住みよいまちにするために、パイプ役の議員の皆さんが日々どのような活動をしているのか、市政はどのよう

な動きをしているのかということを知っておくことも、私たち市民の役割なのかなと感じています。

かつての地域のように行政が行ってくれるのを待つのではなく、行政と市民とが協働しながら、ともにまちづくりをしていけばもっと素敵なまちになることが期待できます。そのためには、「市民の声」を代弁する議員さんの存在が重要だと思います。

議会の様子は仕事をしている人も、議会だよりを見ることで現状を知ることができます。興味・関心を持つきっかけは人それぞれだと思います。

“だれかが”ではなくて“みんなで”支えあって、住みやすい魅力的な燕市をつくれたらいいですね。

もんやじゅんこ
門谷 淳子さん(燕市水道町)

※協働とは…相互にお互いの不足を補い合って、ともに協力して課題解決に向けた取り組みをすることです。

編集後記 「編集委員1人一言」



長井由喜雄 合併後ずっと議会だよりの編集に関わりました。外見も中身もずいぶん前進したと思っています。ネットを通じた発信にもご期待ください。

小林由明 2年間ありがとうございました。議会報は、公平公正な観点で、住民と議会をつなぐ大切なもの。今後もよろしくお願いたします。

タナカ・キン 新人の小林・渡邊議員の参加もあって、表紙をカラーにしたのははじめ内容も見やすくなったと思っています。あとは次の委員にバトンを託します。

齋藤紀美江 多くの伝えたい事柄を短い文章で、いかにわかりやすく伝えることができるか。毎回、議会報の編集時に悩んだことです。「言葉をそぎ落とす」ことの重要さを教えられました。

齋藤信行 2年間やってみて、「読者の立場に立って読みやすく」とつくったつもりです。市民の皆様に親しまれる議会報にしたいと思えます。

渡邊雄三 議会報委員として多くの事を学び感謝しています。議会報を1人でも多くの人に読んでいただきたいとの思いで務めさせてもらいました。今後、議会報がより多くの市民の皆様に愛されるよう願っています。

中條征男 最近は異変であるのか異常であるのか心配である。領土主権問題、災害等や政治の不安定さなどで多くの方は不安を持っていると思う。政治の安定を望む。

巨大なクレーンを使って建設中の新庁舎は、黄金色に輝く田んぼに囲まれてその姿を現してきました。まちづくりの拠点として来春に完成予定です。新しい庁舎にふさわしい行政の在り方であってほしいですね。
(2012年9月13日撮影)

今号の
表紙



【議会報等特別委員会】

委員長：長井由喜雄 副委員長：小林由明
委員：渡邊雄三 タナカ・キン 齋藤紀美江
齋藤信行 中條征男



燕市議会では、10月1日から議員の発言がホームページで簡単に見られる「会議録検索システム」を導入しました。

※一部のブラウザでは見られませんので、ご了承ください。